令和７年度実績報告に対する意見書

１　総合意見

第４次柏市男女共同参画推進計画の初年度である令和７年度は，本計画に掲げる基本目標及び施策に基づき，各事業の推進に取り組み，計画実現に向けた着実なスタートを切る年度となった。

社会情勢や市民ニーズが多様化・複雑化する中，男女共同参画の推進には継続的かつ実効性のある取組が求められることから，各施策の進捗状況や成果，課題を適切に検証しながら，必要に応じて事業内容の見直しや改善を図っていくことが重要である。

今後も，第４次柏市男女共同参画推進計画の基本理念である「多様な生き方を認めあい 個性を生かせるまち柏」の実現に向け，関係機関との連携を図りながら，より効果的に施策を推進するよう要望する。

２　各基本課題についての意見

（１）男女共同参画を目指す教育・学習の推進

男女共同参画に関する講座については，市公式 LINE 等を活用した情報発信により，多くの参加申込みにつながった事例もあり，効果的な周知方法の検討を進めていることは評価できる。また，参加者アンケートを活用し，講座内容や参加者のニーズを把握していることも，今後の事業の充実につながる取組である。

一方で，講座によって参加者数に差があることから，参加者のニーズを踏まえ，テーマや開催時間，周知方法等について検証し，より多くの市民が参加しやすい講座となるよう工夫していただきたい。また，男女が共に多様な生き方や働き方を考える機会となるよう，講座内容の充実させてほしい。

（２）性の多様性の理解及び暮らしやすいまちづくり

市職員を対象とした LGBTQ に関する理解促進は，多様性を尊重する意識の醸成を図る上で重要な取組であり，継続して実施していることは評価できる。

一方で，アンケートについては，回答しやすい環境づくりが重要である。回答方法の工夫やリマインドの実施など，より多くの職員が参加しやすく，理解促進につながる取組となるよう検討を希望する。

（３）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

育児や介護など，仕事と生活の両立を支援する講座を実施することは，男女が共に安心して働き続ける環境づくりにつながり，今後の充実が期待される。

一方で，生き方や働き方が多様化する中，特定の対象者だけではなく，男女が共にライフプランを考え，家事・育児・介護等を支え合う意識を醸成することが重要である。引き続き，関係部署と連携しながら，多様なニーズを踏まえた施策を推進していただきたい。

（４）人権等に対する配慮

困難な問題を抱える女性への支援については，相談者が必要な支援につながることができる相談体制の充実が重要である。女性相談支援員の配置について，近隣自治体の状況等を参考に検討していることは，支援体制の強化に向けた取組として期待される。

今後も，様々な困難を抱える方が安心して相談できる環境づくりを進めるとともに，関係機関との連携を図りながら，適切な支援につなげる体制の整備を続けてほしい。

（５）推進体制

実績報告書については，施策の進捗状況や成果を分かりやすく伝えることが重要である。そのため，掲載するグラフ等については，示している内容や目的を明確にするとともに，柏市の現状や取組との関連性が伝わる資料となるよう工夫することが好ましい。

また，男女共同参画に関する施策は幅広い分野に関わることから，関係部署との連携を図りながら推進することが必要である。第４次柏市男女共同参画推進計画に基づき，庁内全体で効果的な施策の推進に努めていただきたい。